

○学生支援部門

1. バリアフリー推進室関連

① 学生相談件数

バリアフリー推進室カウンセリング件数は、コロナ禍での入構制限などにより減少したが、オンラインを活用した面談等の充実を図ることで対応することができた。

バリアフリー推進室	区分	水戸	日立	阿見	計
キャンパス別・相談件数	延べ人数（名）	1103	315	271	1689
	実人数（名）	120	52	43	215

※ 過去相談件数との比較

2019年度（水戸・日立・阿見 合計）：延べ人数 2226名 実人数 305名

② 授業等における合理的配慮手続き

- ・配慮に向けての相談及び実際の手続き等を行った人数 22名
- ・これらの学生が受講する各授業の配慮内容検討と各部局との適切な配慮の調整等をコーディネートした。

③ 2021年度入試における障害等のある入学志願者の事前相談

- ・受験上等配慮人数 実人数 13名
- ・申請のあったこれら受験者の適切な配慮について、受験者とのやり取り、当該部局との適切な配慮の調整等を行った。

④ ピアサポーターの育成

2018年度から学内における専門ピアサポーター認定制度を整備し、研修や認定試験合格後に全学教育機構長による認定を行っている。

1) 専門ピアサポーター認定学生数 17名（院生1名含む）

2) 専門ピアサポーター養成講座（研修会）開講及び認定試験実施：計20回

⑤ アクセシビリティリーダーの育成

多様な可能性を開拓する社会の構築推進をしていくために、必要なアクセシビリティに関する知識・技術・経験とコーディネート能力をもった人材を輩出することを目的とした、アクセシビリティリーダーの育成のための体制整備等を行っている。

2020年度は、2級アクセシビリティリーダー認定試験（アクセシビリティリーダー育成協議会主催）に16名（院生1名含む）の合格者を輩出した。

⑥ 障害のある学生を対象とした自主学習室の整備

2017年度に開設し、試験的に運用していた主に発達障害や精神障害のある学生の学習や休息のスペースである自主学習室（やすらぎルーム、水戸キャンパス共通教育棟1号館131室）について、2018年度より運用を本格始動し、2020年度も一定の需要があった。

※ 2020年度利用学生数 延べ人数 20名

2. キャリアセンター関連

1) 令和3年3月卒業生の進路状況

・令和2年度における学部卒の就職・進学率は95.4%（前年度95.1%）、大学院卒では93.8%（前年度90.7%）となっており、例年と同様の率で推移した。

2) 令和3年3月卒業生および令和4年3月卒業予定学生の動向及び支援

（資料2-C-01：茨城大学水戸地区合同企業WEB説明会）

（資料2-C-02：茨大キャリアセンターMondayLIVE）

（資料2-C-03：就活継続セミナー）

・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下において、就職支援についても新たな対応が必要となった。（令和3年3月の合同企業説明会はオンライン形式で実施など）

・遠隔授業及び入構規制により、就職活動などに不安を抱える学生に対し、新たな支援（遠隔実施のため3キャンパス学生参加可）として、キャリア相談の遠隔化（Web、電話）及び予約制の相談に加え、事前予約不要のフリー相談を新設し、学生の利便性向上を図った。

・就職ガイダンスをWeb（Teams）で実施（※昼休み時間帯に複数回ライブ配信）し、緊急事態宣言解除後の6月以降は「就活リスタート講座（履歴書・ES対策、企業研究、面接対策）」「オンライングループディスカッション・面接練習会」「就活継続セミナー」などを複数回実施した。

※茨大キャリアセンターMondayLIVEを開催。新型コロナウイルス感染症の影響で孤立しがちな就活生に向け「つながり」を感じてもらうことを目的として毎週月曜日の昼休みに Teams を使用し15分間のライブ放送を実施した。



【茨大キャリアセンター Monday LIVEの様子】

・公務員からの進路変更者や就職活動を継続している学生への支援として、カウンセラーが継続的に支援するオーダーメイドサポートを実施し、応募書類の添削や模擬面接、就職活動の進め方の相談など、それぞれの学生のニーズや悩み、課題に寄り添い、個別性を重視した対応を行った。

3) キャリアセンターの取組について

- ・キャリアセンターでは就職支援に加え、学生のライフデザイン形成などへの支援を行っている。
- ・日立キャンパス(工学部)及び阿見キャンパス(農学部)でも、就職相談コーナーの支援を行っている。

① 就職ガイダンス ※全てオンライン開催

(資料2-C-04：就職ガイダンス実績)

(資料2-C-05：就職ガイダンス実施日程)

- ・「インターンシップ直前対策」「職務適性テスト」「自己分析講座」「面接対策講座」など、年間を通して就職活動の時期に合わせた様々な就職ガイダンスを開催した。
- ・留学生向けの就職ガイダンスを開催した。
- ・各業界の企業を招く「業界・企業研究会」、公的な仕事を理解するための「国家・地方行政機関等業務説明会」、実践的な採用試験対策講座として「グループディスカッション対策講座」「個人面接練習会」などを定期的就職ガイダンスとは別に開催した。

② キャリア教育

(資料2-C-06：ライフデザイン・シラバス)

- ・学生が自身の個性と仕事を理解し、主体的に進路を選択するためのキャリア教育を行っている。
 - 1年次生には地域志向科目の「茨城学」
 - 1～2年次生には「仕事を考える」
 - 3年次生には必修授業科目「ライフデザイン」を学部ごとに開講。

③ キャリア相談 ※キャリア相談の遠隔化（Web，電話）で対応

- ・キャリアセンターや工・農学部のキャリア相談コーナーでは、キャリアカウンセラー及び企業の人事経験者により、学生一人ひとりに合わせたきめ細かな指導や相談を行っている。
- ・相談内容は、進路、就職活動に関する悩み事相談、エントリーシートの添削、模擬面接の実施など、就職活動中の学生に限らず、1・2年次生も気軽に相談できるようになっている。障害を持つ学生への情報提供や支援も行っている。

※2020年度（延べ人数：水戸1938人，日立1073人，阿見189人）

④ インターンシップ

- ・企業、団体やその仕事内容を理解することは、進路を決定する上でとても重要である。キャリアセンターでは、企業・団体の中で研修生として働くことができるインターンシップへの参加を推奨している。
- ・インターンシップのための「業界研究講座」「マナー講座」などの事前・事後指導など、学生がインターンシップに踏み出すためのサポートを充実させている。

- ・令和2年度はコロナ禍の影響もあり減少した。

⑤求人票，就職ガイダンス，インターンシップ等各種情報の発信

- ・学生は情報配信システム「茨大キャリアナビ」を使用し，パソコンやスマートフォンを使って企業からの求人情報や，キャリアセンターからの案内などを見ることができる。
- ・求人については，県内外の企業から本学生に向けた求人を閲覧できる。（年間約2万3千件）

⑥主な学内イベント

（資料2-C-07：地方行政機関等業務説明会案内）

- ・大学主催学内合同企業説明会（Webで実施）

2019年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止したが，2020年度は，水戸・日立地区で開催した。 ※別途「茨大生限定のWEB個別企業説明会」も実施

- ・業界・企業研究会

主に次年度卒業予定者を対象として，キャリア教育の一環として，早くから業界や企業，仕事の内容を知る機会の提供を目的に行っている。企業の担当者を学内に招き，業界・企業の研究を行うイベント。

- ・国家・地方行政機関等業務説明会

公務員を志望する学生を対象として，国及び地方行政機関や特殊法人など，約30団体が参加し，業務説明を行うイベント（2月に開催）。

3. 学長と学生の懇談会 主催 （資料2-C-08：2020年度前学期 学長と学生の懇談会（実施報告），資料2-C-09：2020年度後学期 学長と学生の懇談会（実施報告））

① 2020年度前学期 学長と学生の懇談会

日時：2020年6月24日（水）13：30～15：10

場所：オンライン（Teams），教職員は共通教育棟1号館第一会議室

内容：新型コロナウイルス感染症拡大の影響による本学の課外活動規制について，現在の大学が検討している段階的な緩和の方針を提示した後，各課外活動団体の考えや意見等を尋ねた。

参加者：学生39名（課外活動団体30団体），教職員12名（太田学長，久留主理事・副学長ほか）。

成果：学生たちからの質問や意見を受け付け，議論を行うことで，部活動・サークルなどの課外活動の再開方針を決めることができた。

② 2020年度後学期 学長と学生の懇談会

日時：2021年2月10日（水）9：30～12：00

場所：オンライン（Teams）

内容：2020年12月に太田学長より「イバダイ・ビジョン2030（素案）」が示されたことを受け，

学生の考える（想う）「2030年の茨城大学の姿」について、学長をはじめ大学執行部教職員と学生が直接対話した。

参加者：学生86名、教職員5名（太田学長、久留主理事・副学長ほか）。

成果：「イバダイ・ビジョン 2030」の策定にあたっては、学生との意見交換の場を持つことで、学生の意見を反映することができた。



【オンラインでの懇談会に臨む太田学長】



【オンライン懇談会の様子】

4. 学生支援に関するFD/SD 主催 （資料2-C-10：ゲートキーパー養成講座資料）

① ゲートキーパー養成講座

日時：2020年12月15日（火）14:20～15:50

場所：オンライン（Teams）

内容：布施保健管理センター長より、大学生の自殺を防ぐための対応などについて、説明があった。

参加者：教職員144人

成果：講座終了後の参加者を対象としたアンケート調査（回答者87人）より、90%がゲートキーパーへの理解が深まったと評価していることが確認された。

5. 各学部における学生担任マニュアルの実質化

前年度の令和元年度までに学部ごとの「担任マニュアル」が試行的に策定実施されていたが、試行期間の実施状況を鑑み、また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により担任による学生への細やかな把握がより重要になったことから、各学部とも学部に応じたより実質的なものに修正がなされ、教職員への周知も進められた。

6. 課外活動（サークル活動）再開に向けた取組

① 茨城大学課外活動（サークル活動）再開に向けた研修会の開催

活動自粛となっていた課外活動の再開に伴い、課外活動団体の学生へ向けた感染症対策に関する研修会を開催した。

目的：学内での課外活動再開を前に、本学課外活動団体に対して感染防止対策に関する講習会を開催し、感染防止の一助とすること。

※学内で活動を再開するためには、本研修会の受講を義務づけ。

※対面式研修会参加学生以外は、録画した本研修会動画を10月19日までに視聴。

対象：本学課外活動団体に所属する代表者2名（必須）

場所：水戸キャンパス（講堂）、

日立・阿見キャンパス（Teams で実施）

日時：10月12日～15日

講師：保健管理センター所長 布施泰子（研究分野：精神神経科学）

人文社会科学部 教授 加藤敏弘（研究分野：スポーツ社会学）



【布施保健管理センター所長による講義】



【加藤人文社会科学部教授による講義】